

## 令和4年度第2回小櫃・上総地区公民館運営審議会会議録

- 1 会議名称 令和4年度第2回小櫃・上総地区公民館運営審議会
- 2 開催日時 令和4年9月13日(火)  
15時00分から17時10分
- 3 開催場所 上総地域交流センター
- 4 出席者 委員 【小櫃地区選出】  
市原副委員長、水田委員、丸山委員、三橋委員  
【上総地区選出】  
石井委員長、小泉委員、鈴木委員  
事務局 【上総公民館】  
本橋館長、鈴木亀山分館長、森本副館長、  
早田副主査、今井公民館主事  
【小櫃公民館】  
田村館長、榎本副館長、會澤副主査、佐々木主任主事
- 5 欠席者 委員 【上総地区選出】野村委員  
事務局 【上総公民館】潤米松丘分館長、江越主事
- 6 傍聴人 なし
- 7 会議概要 下記のとおり

- 1.開会（進行 森本副館長）
- 2.上総公民館長あいさつ（本橋館長）
- 3.議事

**【石井委員長】**

進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。  
質疑は両館の説明後にまとめて行いますのでよろしくお願ひします。

**【榎本副館長】**

資料1－1のとおり説明。

**【森本副館長】**

資料1－2のとおり説明。

**【石井委員長】**

ただいま事務局の説明が終わりましたので質疑に移ります。両館の事業中間報告がありました。これらを踏まえてご質問、ご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

**【丸山委員】**

それでは2点質問します。まず小櫃地区防災講座の満足度の87.94%の数値はどのように算出したのですか。

**【會澤副主査】**

参加者にアンケートを記入していただき、「適切」、「まあ適切」、「あまり適切でない」、「適切でない」の4段階評価で、項目として開催日、開催時間、実施回数、実施内容、理解度についての評価の平均値をそれぞれ計算して、その5項目の数値をさらに平均したものを出示させていただきます。

**【丸山委員】**

分かりました。次に上総公民館の課題解決学習推進事業で、さわやか学級の「ストレッチ&体操で健康増進」の講師はどなたですか。

**【森本副館長】**

これまでに上総公民館の事業でも何回か講師をお願いしたことがある、鈴木まゆみ先生で小糸在住の方です。健康体操などの上総公民館サークルで講師として指導されている方です。

**【市原副委員長】**

上総公民館の文化祭実行委員会について、先程のスライド写真を見ると、外が明るいように見えますが、時間は日中に行っているのか教えてください。

【森本副館長】

日中に行っており、午後3時からスタートして5時位に終わっています。

【市原副委員長】

小櫃公民館でも実行委員会を何回か実施していますが、ほとんどが夜に実施しています。若い人が平日の日中に集まれていますか。

【森本副館長】

時間帯については、そこまで考えていなかったこともありますが、上総地区のサークル利用者のほとんどが年配の方で、仕事の時間はあまり関係がないため、この時間になっており、皆さんに集まっています。

【市原副委員長】

青少年相談員の方も実行委員会の委員に入っていますか。

【森本副館長】

青少年相談員も入っています。

【市原副委員長】

そういう方は休みを取って来られているのですか。

【森本副館長】

はい。

【市原副委員長】

小櫃地区については、午後6時30分や午後7時に開始するなどして、仕事が終わってから来られるような時間にしています。時間を考えてもらいたいなどの意見は出ないのですか。

【森本副館長】

市原副委員長の意見を伺って確かにという部分もありますが、現状では私の耳には入っていないところです。もしかすると不満があるのかもしれませんが、今後、青少年相談員の方などに意見を聞きながら時間についてどうするか検討していきたいと思います。

【石井委員長】

他にありませんか。無いようなので進めさせていただきたいと思います。

それでは、(2) ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について、事務局の説明をお願いします。

【榎本副館長】

資料2-1のとおり説明。

【森本副館長】

資料2-2、2-3、2-4のとおり説明。

### 【石井委員長】

事務局の説明が終わりましたのでこれから質疑を行います。活発な議論をお願いします。まず実際に様子を見られた方ご意見をお願いします。

### 【鈴木委員】

サークルリーダーICT講習会を拝見しましたが、現在、ICTを使った活動が求められていて公民館活動の中で推進していこうという視点が良いと思いました。事前に講師との打ち合わせを熱心に行っているのが伝わってきました。

講習会を受けた方は、サークル関係の方以外にも、興味がある方もいらして熱心に講習を受けられていました。

しかし、LINEについて知りたい方が、前で説明する講師の話聞かずに、近くにいるサポーターに直接聞いている姿があり、全体の進行と個別の研修との指導とにちぐはぐさがあったと感じました。

この部分は事務局の説明からも、今後の運営の在り方を検討するうえで参考にしていきたいとの意見がありましたので、ぜひ次回そういう方向でお願いしたいと思います。とても新しい視点を取り入れたモデル事業であったと思います。

### 【小泉委員】

先ほど話があったように、私も進行者とサポーターの指導との間で、ちぐはぐさは感じました。あと資料を読みながら進められていたのですが、最初のWIFIの接続からつまづいている場面があり、まずそこからなのかと思いました。そこに時間がかかってしまったのが残念でした。その後、内容を進めるのですが、もっと知りたいという方もいたり、「周りの方とLINE交換ができ、つながりました。」と言っている方もいたりして、良いところもあったがマイナスなところもありました。また今後、WIFIを使える場所をもっと増やし、整備を進めてほしいです。

### 【三橋委員】

講習を受けた方が一生懸命スマホを使おうと、いろいろと質問されていました。満足度も高いと思いました。ICTを公民館で活用していくことは、いいテーマだと思います。新しい人がこちらの地域に転入してきたりして、地域の様子が変化し、雰囲気は明るくなっている部分もありますが、ICTを活用した地域からの情報発信が重要です。公民館だけの取り組みだけでは終わらずに、もっと地域の活性化につなげてくれれば、公民館のことを多くの方からも理解してもらえるのではないのでしょうか。

### 【石井委員長】

私も参加させていただきましたが、雰囲気は和気あいあいとしていて良かったです。講師の「きみばそくらぶ」さんが非常に丁寧に教えていただいていたので堅苦しくない雰囲気でした。しかし、講師が進めている内容とサポーターの方の話の内容の速度、進路がずれていると感じました。難しいとは思いますが、うまく調整できればよかったのではないかと感じました。今後の展開に注目したいと思います。

**【鈴木委員】**

「小櫃まるごと博物館」構想について質問します。構想運営員の2階層実施のもとになる考えはありますか。推進員と運営員の違いについて、また、選定の基準はどういったものがありますか。

**【會澤副主査】**

推進員の方は小櫃で長らく活動されてきた方々にアドバイスをいただくことが重要と思いましたが、一緒に動けるかと思いましたが、高齢の方でもあり、LINEでの連絡などは難しく、他に組織を作りながら実働体制を作った方がいいのではということで運営員をおきました。主に資料についてアドバイスいただくのが推進員で、実際に記録を収集したりや情報交換をしていくのが運営員です。

まだ始まったばかりなので、こういう役割が必要ではなど、お考えがあればご意見いただきたいです。

**【鈴木委員】**

推進員の違いや基準はわかりました。運営員はどのような理由あるいは立場の人がなっていたのか教えてください。

**【會澤副主査】**

運営員は、例えば「小櫃学」の参加者に学習しながら構想事業を一緒にやっていきませんかと声掛けしていきたいと思います。今後、推進員を増やすというよりも、一緒に学び、楽しみながら運営していく人として運営員を増やしていきたいと考えています。

**【石井委員長】**

他に無ければ以上で議題を終了させていただきます。今回の審議会では初めてのZoomを活用してのオンライン開催でした。意見交換においては対面よりも難しい部分もありましたが、委員の皆様のご協力もあり、いい議論ができたと思います。引き続き我々公運審委員も公民館事業の実施にあたり協力していきたいと思います。以上をもちまして議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。